

様式 1 3

会派視察研修計画書

令和元年 9 月 2 0 日

碧南市議会議長 様

会派名 新しい碧南をつくる会

代表者名 鏑本達朗

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	<u>鏑本達朗</u>		
日時	令和1年11月14日（木）～令和1年11月15日（金）		
視察先	大阪府八尾市 三重県いなべ市		
研修内容	八尾市 高齢者、障害者のごみ出し支援事業 いなべ市 まちの賑わいづくり、施設の有効利用		
日程	14日 名鉄 J R 新幹線 J R <u>碧南中央駅——刈谷駅——名古屋駅——新大阪駅——八尾市——</u> 14 : 00～15 : 30 <u>新大阪——ホテル</u> 15日 新幹線 レンタカー <u>新大阪駅——名古屋駅——いなべ市——碧南市</u> 13 : 00～14 : 30		
交通手段	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (電車・新幹線)	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (飛行機)	<input type="checkbox"/> 自家用車

※該当するものにチェック☑してください

様式14

会派視察研修報告書

令和元年11月26日

碧南市議会議長 様

会派名

代表者名 鏑本 達朗

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 1名分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	鏑本達朗
日時	令和元年11月14日（木）～令和元年11月15日（金）
視察先	大阪府八尾市、三重県いなべ市
研修内容	大阪府八尾市→ゴミ出し（ごみ収集）について 三重県いなべ市→にぎわいの森について
日程	11月14日 午後1時30分～午後3時30分八尾市視察 ジーアールホテル江坂（電話06-6321-2001）宿泊 11月15日 午後1時～午後3時30分いなべ市視察
備考	

※ 相手方から収受した資料の写しを添付してください。

会派視察研修報告書

令和元年11月26日

議員氏名 鏑本 達朗

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期間 令和元年11月14日（木）～令和元年11月15日（金）
- 2 視察先 大阪府八尾市、三重県いなべ市
- 3 視察の種類 会派、新しい碧南をつくる会
- 4 視察の成果等

令和元年11月14日から11月15日の二日間、令和新風会との合同で、大阪府八尾市、三重県いなべ市へ行政視察に行ってきました。

一日目の八尾市では、ごみの出し方について視察してきました。特に、八尾市の特徴である「ふれあい収集事業」は、興味のある事業ではと思いました。

八尾市では、ごみの収集について、燃やすことのできるごみ、資源となるごみ、すべてのごみの収集は、市直営で、基本、各家庭の前での戸別収集となっていました。例外として、ごみ収集車が入ることのできない狭い道路の地域については、ステーション方式をとっているとのことでした。そこで、このステーション方式をとっている地域で、家庭ごみを自ら集積場所まで持ち出すことが困難な高齢者や障がい者を対象に、市の収集担当者が玄関先などでごみを収集するという「ふれあい収集」を始められたとのことでありました。平成17年10月1日より事業実施し、利用者数は、延べ317名となっているとのことでありました。現在は92名の方が利用しているとのことでした。また、収集と同時に、安否確認も行っているとのことでありました。

ごみの出し方、収集について考えさせられるところが多い事業でありました。碧南市においては、資源ごみのステーション収集、燃えるごみの個別と集積場の混在した収集方法、現在行われている収集方法が時代にそぐわなくなっている点がみられる中、現在の方法の利点を活用し、新たな方法を取り入れる場合の、一つを取り入れるべき方法ではと思われました。今後、高齢者の単独世帯が増える予想のなか、参考にすべき事業ではなかろうかと思いました。

二日目は、いなべ市の「にぎわいの森」について視察してきました。

4町合併で誕生したいなべ市で、これまで市庁舎は、かつての町役場を分庁舎として活用していたが、これでは、市民サービスに不便が生じるころから、市の中央地域に新たに庁舎を建設することとなり、それと同時に隣接する「にぎわいの森」を併設し、

観光客の集客を目指した商業施設を、市長の提案で、いなべ版地方創生グリーンクリエイティブいなべと銘打ち、事業展開することとなったとのことであります。

にぎわいの森は、敷地面積約12,000㎡、4つの建屋に5つの店舗が入り、こだわりの市外の店舗を誘致してきたものでした。建屋の設計コンセプトは、「ファクトリー」で、もともとあった杉林をイメージした杉板外壁と現代的なセメント素材の組み合わせとなっているとのことでした。「にぎわいの森」の森と径は、園芸種は控え、もともとそこにあった大きな樹木はそのままにし、風土に合った地場樹木を植栽し、一周300mほどの散策路、小径を整備したものととのことでした。有名店を誘致することにより、地域の商店への刺激となり、共存することにより、商店街の活性化につながり、ひいては、町の活性化につながるのではとのことであります。

碧南市にこのような施設が必要かどうかは、疑問の残るものと思いますが、少なくとも、いなべ市長のまちの活性化、町の将来に対する前向きな姿勢とその豊富なアイデアには、驚嘆するところです。市政に面白みを求めるのは不謹慎かもしれませんが、閉塞感が否めない碧南市政に、いなべ市のように、もう少し冒険心があってもよいのではと感じたところです。